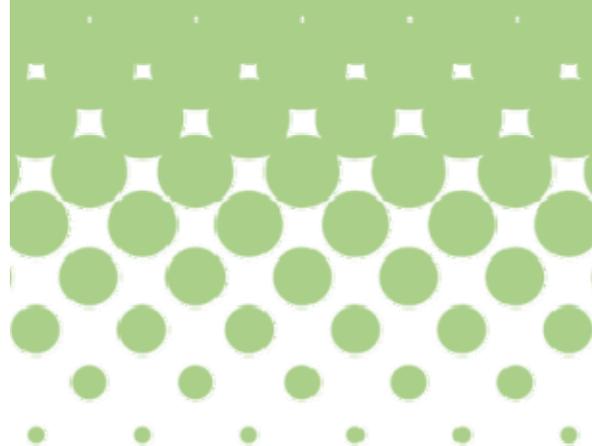


一括コンバーター操作マニュアル



目次

1	R4一括コンバーターの概要	3
1.1	一括コンバーターと個別コンバーターの違い	3
1.2	コンバートされる内容	4
1.3	一括コンバーターの制限事項	4
3	コンバートの準備	5
3.1	R4コンバーターの環境	5
3.2	コンバート前の確認事項	5
4	一括コンバーターの実行	7
4.1	実行前の確認事項	7
4.2	一括コンバーターの操作	7
4.3	コンバートログ一覧	16

商標等について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

© SEIKO EPSON CORPORATION 2014. All rights reserved.
2014.05-00

1 R4一括コンバーターの概要

R4 一括コンバーターの概要です。

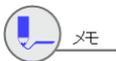
1.1 一括コンバーターと個別コンバーターの違い



- ◆ 一括コンバーターは、複数のアプリケーションを指定してデータをコンバートすることができます。
- ◆ 一括コンバーターは、何度もユーザー情報をコンバートできます。
(ただし、R4 アプリケーションのデータを作成後はコンバート不可)
- ◆ 一括コンバーターは、共通会社情報を移行することができます。

コンバーターには、「一括コンバーター」と R4 アプリケーションの会社選択画面から行う「個別コンバーター」があります。処理の違いは次のとおりです。

処理／コンバーター種類	一括コンバーター	個別コンバーター
コンバーターの起動方法	プログラムフォルダーから起動	R4 アプリの会社選択画面から起動
ログインユーザー	ログインなし	R4 アプリにログインしてから起動
移行先	移行先を選択可能	起動している R4 アプリの接続先
移行元	既存アプリの接続先／移行元フォルダーを選択可能	既存アプリの接続先／移行元フォルダーを選択可能
ユーザー情報	移行可能	1度だけ移行可能
共通マスター	移行可能	自動で移行
共通会社情報	あらかじめ共通会社を移行可能	コンバート時に、1社ずつ随時作成
コンバート単位	複数アプリを選択して移行可能 すべてのデータから選択して移行	ログインしているユーザーが使用できる既存データから選択して移行
対象システムについて	財務応援 Ai は不可	コンバート可能アプリすべて可能



- ◆ R4 一括コンバーターは、販売代理店様向けのツールです。R4 シリーズのセットアップフォルダーから次のプログラムを直接実行してください。

C:\Program Files\Epson\R4\CYConvert\Epson.Accounting.CYConverter.exe

1.2 コンバートされる内容

コンバートされる内容は次のとおりです。

コンバート項目	コンバート内容
ユーザー情報	ユーザーコード、ユーザー名、ユーザー権限、アプリログイン権限 (ログイン不可アプリを設定)
共通マスター (一括コンバーター/ 個別コンバーター共)	■ InterKX 環境 エプソンメニューから移行されるデータ 掲示板、お気に入り URL ※エプソンメニュー起動タブに登録済みのアプリケーションは、 クライアントマシンに統合管理を初めてセットアップする ときに、移行処理を行います。
共通会社情報移行 (一括コンバーターの み)	既存アプリの共通会社基本情報、エプソンメニューよく使う会社情 報 (会社タブ「 <input type="checkbox"/> チェックした会社のみ表示する」にチェックした 会社)
アプリの会社データ (一括コンバーター/ 個別コンバーター共)	各アプリの会社データ (コンバート内容はアプリごとに異なりま す。)



- ◆ 共通会社情報は、あらかじめ移行しなくても、各アプリのデータを移行する際に、アプリのデータから作成されます。
- ◆ システムパスワードはコンバートされません。

1.3 一括コンバーターの制限事項

- ・ ネットワーク版からスタンドアロン版へのデータ移行はできません。行いたい場合は、既存のネットワーク版アプリケーションでバックアップを作成して、別途既存アプリケーションのスタンドアロン環境を構築してリストアしてコンバートしてください。
- ・ 財務応援 Ai は、一括コンバートができません。個別コンバートをお使いください。
- ・ 一括コンバーターと個別コンバーターは同時に起動できません。
- ・ 一括コンバーターは1つのPCでしか起動できません。
- ・ InterKX の場合、エプソンメニューを閉じてください。

3 コンバートの準備

コンバートを実行する PC の環境について説明します。

3.1 R4 コンバーターの環境

コンバートを実行する環境には R4 アプリケーションと既存アプリケーションの両方をセットアップしてください。

既存アプリケーションのセットアップについて

コンバートする環境には、既存アプリケーションの対象バージョンがセットアップされている必要があります。



ポイント

◆InterKX の場合は、エプソンメニューがセットアップされている必要があります。

R4 アプリケーションのセットアップについて

コンバートを実行する環境には、必ず R4 アプリケーション (Eiボードを含む) がセットアップされている必要があります。R4 コンバーターは、各アプリケーションプログラムと一緒に提供されます。R4 アプリケーションをセットアップするときに、一緒にコンバーターもセットアップしてください。

サーバーでコンバートを実行する場合は、サーバーに既存アプリケーションと R4 アプリケーション、R4 コンバーターをセットアップしてください。

3.2 コンバート前の確認事項

既存アプリのバージョンの確認

既存アプリの対象バージョンは、一括コンバーターメニュー画面で【バージョン情報】を選択して確認してください。

コンバート元アプリ	対象Ver	コンバート先アプリ	対
InterKX財務会計/企業実務	7.00	財務R4	14
財務応援Super/Lite	7.00	財務R4	14
財務応援Ai企業(医療)	7.00	財務R4	14
InterKX給与計算・法定調書H25	W25.1	給与・法定調書R4/給与応援R4Premium/給与応援Lite/法定調書顧問R4	13
給与応援Super/LiteH25	W25.1	給与・法定調書R4/給与応援R4Premium/給与応援Lite/法定調書顧問R4	13
法定調書顧問H25	W25.1	給与・法定調書R4/給与応援R4Premium/給与応援Lite/法定調書顧問R4	13
電子申告H25	W25.4	電子申告R4	14
内訳書・概況書	14.*	内訳書・概況書R4	14
顧問先情報	7.00	事務所管理顧問R4(顧問先管理)	14
報酬請求EX	7.00	事務所管理顧問R4(報酬請求)	14
相続・贈与税H25/財産評価H25	W25.*	相続税R4	13
所得税H25	W25.16, W25.17	所得税R4	13

■データの状態確認

次のデータはコンバートできません。あらかじめ対処をしてからコンバートを行ってください。

コンバート対象外データ	対処
モバイル持ち出し中会社	サーバーに返却してください。
Weplat データ共有会社	データ共有を解除してください。
既存アプリで使用中の会社	既存アプリでの処理を終了してください。
コンバート済み会社	R4 アプリでコンバートされた会社を削除してください。



メモ

◆InterKX シリーズでサブサーバーをお使いになっている場合は、データをサブサーバーに戻してからコンバートしてください。

4 一括コンバーターの実行

一括コンバーターの実行方法と、操作について説明します。

4.1 実行前の確認事項

■一括コンバーターを使用するユーザーの権限

- 一括コンバーターを使用するユーザーの権限に制限はありません。

■一括コンバーターの同時処理

- 一括コンバーターと個別コンバーターを同時に起動することはできません。
- 一括コンバーターと既存アプリの同時処理はできません。一括コンバーターを起動する前には、既存アプリケーションの処理をすべて終了させてください。
- InterKX ネットワーク版 32 ビット版 OS (MS8000 以前) で、InterKX 本体でコンバートする場合、エプソンメニューを起動した状態でコンバーターを起動することはできません。エプソンメニューを閉じてから、コンバートを開始してください。コンバート中もエプソンメニューは起動できません。

4.2 一括コンバーターの操作

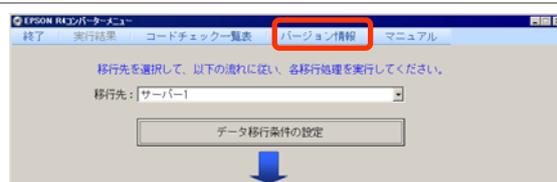
一括コンバーターの操作手順は次のとおりです。

データ移行条件設定

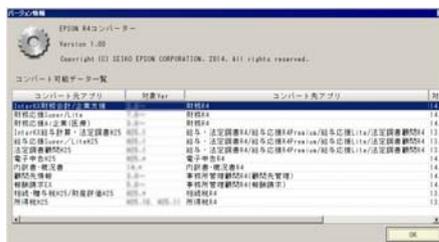
最初にデータを移行する条件を設定します。この設定をしないと、他のメニューは選択できません。移行条件とは、コンバートする既存アプリケーションの選択、コンバートデータの移行先、データ移行時にエラーが発生したときの処理方法等の選択です。

操作

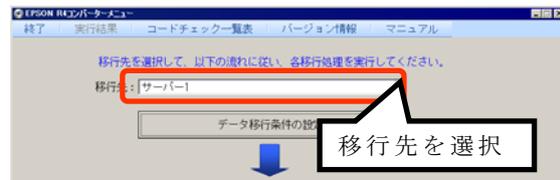
- ① 一括コンバーターを起動します。
- ② 一括コンバーターの初期画面が表示されます。
<バージョン情報>を選択します。



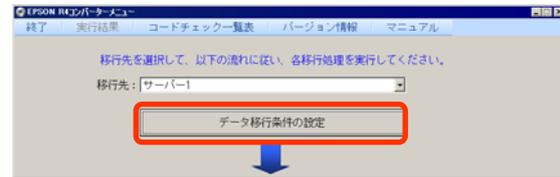
- ③ <バージョン情報>を選択すると、コンバート可能なデータバージョンが表示されます。コンバート可能な既存アプリと R4 アプリの種類を確認します。<OK>を選択します。



- ④ 一括コンバーターの初期画面に戻ります。
最初に移行先を選択します。
R4 アプリケーションのデータ格納フォルダーを指定します。



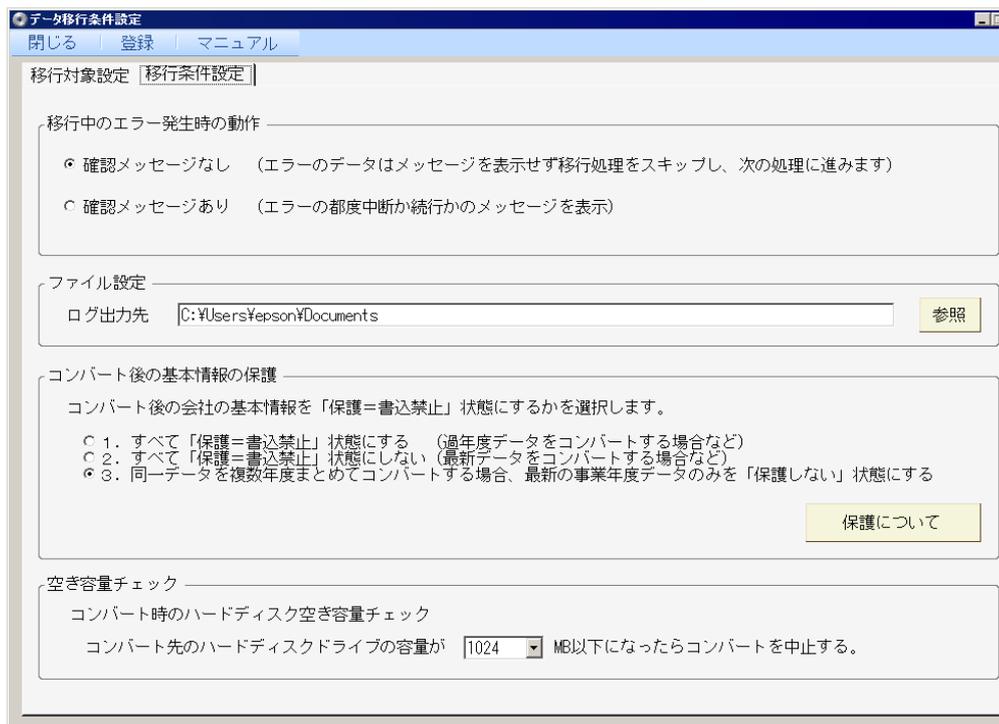
- ⑤ 移行先を選択後、<データ移行条件の設定>を選択します。



- ⑥ 「データ移行条件設定」画面が表示されます。<移行対象設定>タブにはセットアップされている既存アプリとデータの保存先、R4 アプリと接続先(移行先)が表示されます。
移行するアプリをチェックします。
<移行条件設定>タブを選択します。



- ⑦ <移行条件設定>タブが表示されます。



次の内容を設定します。

移行中のエラー発生時の動作	
確認メッセージなし	コンバート時にエラーが発生しても確認画面を出さずに次の会社データのコンバート処理に移ります。 エラーの内容は後で実行結果のログで確認ができます。選択した会社データを最後までノンオペレーションでコンバートすることができます。
確認メッセージあり	コンバート時にエラーが発生した都度、確認画面を表示します。確認画面で【OK】を押すと次の会社データ

	のコンバート処理に移ります。エラーの内容は後で実行結果のログで確認ができます。
ファイル設定	
ログ出力先	ログファイルの出力先を設定します。ネットワーク版の場合は、サーバーのフォルダーを指定することで各クライアントからログの確認ができます。
コンバート後の基本情報の保護	
1. すべて「保護＝書込禁止」状態にする	コンバートした会社をすべて「保護する」状態に設定します。保護した場合は、共通基本情報の内容が変更されても反映されません。過年度データの場合は、保護する設定にすることで、過年度の状態を保持できます。
2. すべて「保護＝書込禁止」状態にしない	コンバートした会社データをすべて「保護しない」に設定します。保護しない場合は、共通基本情報の内容が変更されるとその内容が、反映されます。最新の共通基本情報のデータを反映したい場合は「保護しない」に設定します。
3. 同一会社データを複数年度まとめてコンバートする場合、最新の事業年度データのみを「保護しない」状態にする	1 回に同一の会社の複数の事業年度の会社データをコンバートした場合に、最新事業年度の会社データを「保護しない」に設定します。同一の会社とは、「法人/個人区分+コード+会社名」が同じ会社です。
空き容量チェック	
コンバート時の空き容量チェック コンバート先のハードディスクドライブの容量が**MB 以下になったらコンバートを中止する。	コンバート先のハードディスクドライブの空き容量をチェックしてコンバートを中止します。設定されている容量に達した会社データをコンバートしてから中止します。 2048/1024/500/100 MB



メモ

◆ 「コンバート後の基本情報の保護」について

- ・複数事業年度の同一の会社を1度にコンバートする場合は「3. 同一会社データを複数年度まとめてコンバートする場合、最新の事業年度データのみを「保護しない」状態にする」をお勧めします。
- ・1社ずつコンバートする場合は、先に新しい年度の会社を「保護しない」でコンバートしてください。その後、過年度データを「保護する」でコンバートします。
- ・「保護する」状態でコンバートされた会社データは書込禁止です。コンバートされた会社データ内の共通基本情報は、既存の各アプリケーションのデータから作成された状態で作成されています。各アプリケーションのデータ選択画面から該当の会社を選択して「保護解除」ボタンを押すと書込可能になります。
「保護解除」をするときに、「共通基本情報の変更内容の反映も許可する」を選択すると、関連づけられている共通基本情報(会社コード+会社名が同一)の内容になります。
- ・「保護しない」状態の会社データは、書込可能な通常の会社です。
会社データ内の共通基本情報は、関連づけられている共通基本情報(会社コード+会社名が同一)の内容と一致します。
- ・電子申告データは設定に関わらず、常に「保護しない」設定でコンバートされます。

以上でデータ移行条件の設定は完了です。

ユーザー情報の移行

移行されるデータ

ユーザーコード、ユーザー名、ユーザー権限、アプリログイン権限(ログイン不可アプリを設定)

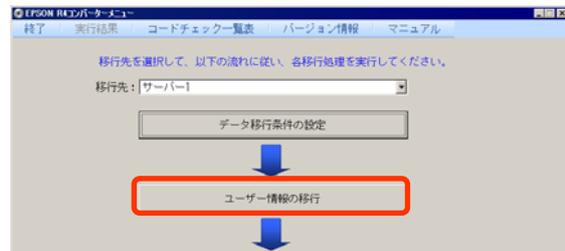


注意

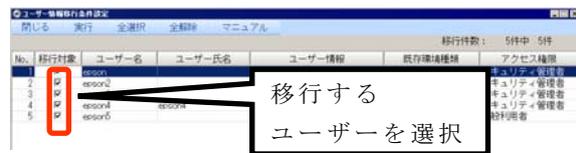
- ◆ユーザー情報が設定されていない状態で既存アプリの各データを移行した場合、各データに設定されているデータ利用者設定情報(そのデータを使用できる一般ユーザーの情報)がコンバートされません。この場合、後で一般ユーザーを追加してもそのデータが表示されないため、データ利用者の設定が必要になります。

操作

- ① 一括コンバーターの初期画面から<ユーザー情報の移行>を選択します。



- ② 「ユーザー情報移行条件設定」画面になります。
既存アプリのユーザー情報が表示されます。移行するユーザーにチェックをして、<実行>を選択します。



- ③ 確認画面が表示され、<OK>でユーザー情報が移行されます。
④ 移行後、①の画面に戻ります。

共通マスター情報の移行

既存アプリで共通に使用している会計事務所情報や税理士情報、また、エプソンメニューで設定している共通の情報を移行します。共通マスターを移行しないと、次の処理には進めません。

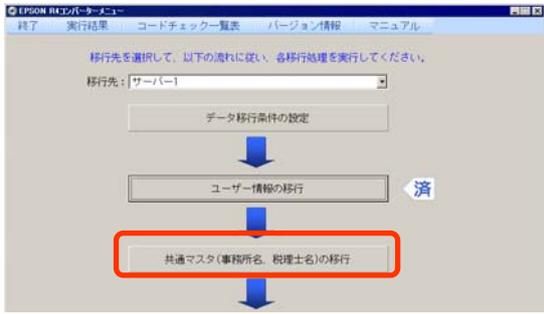
■InterKX／応援シリーズの共通情報から移行されるデータ

会計事務所情報、税理士氏名、税務署テーブル表示フラグ、市区町村役場表示フラグ、都道府県事務所表示フラグ、

■InterKX 環境 エプソンメニューから移行されるデータ

掲示板、お気に入り URL、

操作	
①	一括コンバーターの初期画面から<共通マスター情報の移行>を選択します。



②	確認画面が表示され、<OK>で共通マスター情報が移行されます。
③	移行後、①の画面に戻ります。

共通基本情報の移行

アプリごとのデータを移行する前に、共通基本情報(共通会社基本情報)を移行または作成しておく処理です。共通基本情報の移行方法は次の2種類です。

■ネットワーク基本パックの共通会社基本情報から移行する

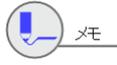
ネットワーク基本パックの共通会社基本情報を移行する方法です。ネットワーク基本パックにある共通会社基本情報の会社コードと、関連付けられているデータの会社コードが一致した場合、その共通会社を使用していると判断して、R4 アプリの共通基本情報へ移行します。

■法人税、所得税の各データから共通基本情報を作成する

法人税と所得税のデータから共通基本情報を新規に作成する方法です。コンバート順にコードと名称を取得し、共通基本情報を作成します。同一のコードで名称が異なる場合は、コード+CY01(連番)として共通情報を作成します。

例) 共通会社作成例

法人税のデータ		共通基本情報
001 A社	→	001 A社
001 B社	→	001CY01 B社
002 C社	→	002 C社
003 C社	→	003 C社



◆ 共通会社移行処理では、同時に、エプソンメニューのよく使う会社の情報(会社タブ口チェックした会社のみ表示するのチェック会社)をコンバートします。



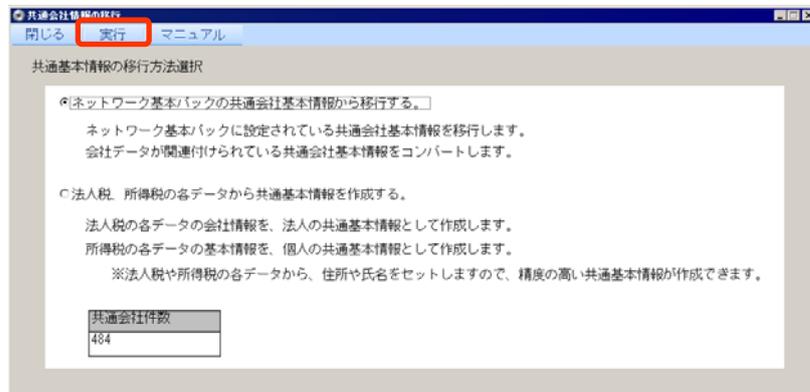
◆ 既存アプリでは、会社コードで共通会社との関連付けを行っていましたが、R4 アプリでは、会社コードと会社名と種別(法人か個人)が同一の場合に同一会社として判断します。したがって、同じコードで異なる会社名のデータが同じ共通情報に関連付けられることはありません。

◆ 共通基本情報をあらかじめ作成しておくメリット

法人税、所得税のデータから共通基本情報を作成することで、既存の共通会社情報を破棄し、より精度の高い基本情報になる可能性があります。

操作

- ① 一括コンバーターの初期画面から<共通会社情報の移行>を選択します。
- ② 「共通会社情報の移行」画面が表示されます。共通基本情報の作成方法選択し、<実行>を選択します。



◆ 「実行」を選択して<共通会社データ移行>をクリックすると、コンバート不可のエラーが表示されます。

- ③ 確認画面が表示され、<OK>で共通会社情報が移行されます。
- ④ 移行後、①の画面に戻ります。

アプリ毎の会社データの移行（一括選択）

複数のアプリの会社データを一括で移行する処理です。

操作

- ① 一括コンバーターの初期画面から<アプリごとの会社データの移行（一括選択）>を選択します。



- ② 既存アプリとデータの状態が表示されます。選択口のチェックは、「データ移行条件設定」で指定した状態が表示されます。<移行会社選択>を選択します。
※<実行>を選択すると、確認画面を表示後、コンバーターが実行します。

移行対象アプリケーション選択

アプリケーション選択

移行会社選択 移行条件/保護設定：最新年度のみ保護しない

全選択 全解除

選択	アプリケーション	移行順	データ件数	移行済み件数	未移行件数
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	15	1017	0	1017
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 所得税 H25年	183	1	0	1
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 顧問先情報	231	1	0	1



◆ 詳細データを選択せずに<実行>すると、選択アプリのデータすべてがコンバート対象となります。

- ③ 既存アプリケーションのデータが表示されます。移行するデータにチェックをします。
データ量が多い場合は、<検索>を選択してさらにデータを絞り込むことができます。<アプリ選択>で②の画面に戻ります。

移行対象データ選択

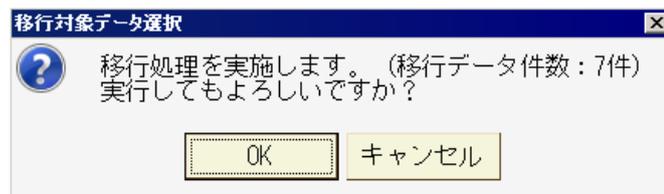
データ選択

移行済みデータ 表示しない / 表示する 想定処理時間：2524500 全選択 全解除

選択	アプリケーション	会社ID	会社名/個人名	会計年度/会計期間	移行済み	移行予定	移行状況
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	そのほか	平成25年01月01日～平成25年03月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	そのほか	平成25年04月01日～平成25年06月30日			決算
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	エフワンサンプル	平成24年04月01日～平成25年03月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	福馬屋	平成24年04月01日～平成25年03月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	サンプル小林商店	平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	データ株式会社	平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	法曹試験会	平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	行記等	平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	製造	平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	個人会社	平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	100期中間高	平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	くぐく	平成24年01月01日～平成24年12月31日			
<input checked="" type="checkbox"/>	InterKX 財務会計	0	監理法人エフワン	平成23年04月01日～平成24年03月31日			

選択件数：7154件中 7154件

- ④ <実行>を選択すると、確認画面が表示されて、コンバートが実行します。



- ⑤ 移行中は、コンバート実行状況が表示されます。
⑦ データ移行後、<実行結果確認>を行ってください。



◆アプリごとのデータを移行する際、共通基本情報(既存の共通会社情報)との関連付けを行います。この際、次の条件で同一会社の判定を行い、これに外れた場合は共通基本情報を新規に作成します。

- ・英数字の小文字/大文字は同一と判定します。
- ・英数字の全角/半角は同一と判断します。
- ・中点の小文字/大文字は同一と判定します。
- ・中点の有無は、外して同じであれば同一と判定します。
- ・カタカナの全角/半角は同一と判定します。
- ・スペースの全角/半角は同一と判定します。
- ・スペースの有無は、はずして同一であれば同一と判定します。

※上記の条件に当てはまる別会社は、あらかじめコードまたは会社名の変更をしておくことで、別会社として共通会社が作成されます。

コンバート結果確認

コンバート結果を確認します。コンバート時に作成されるログの確認およびログファイルの出力(CSVまたはExcel)を行います。



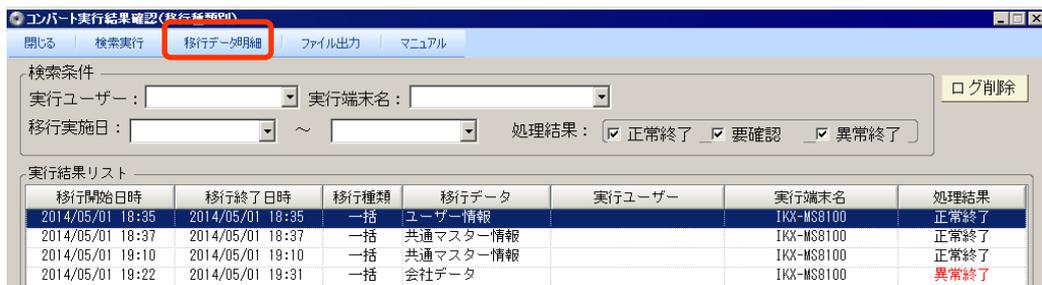
◆ログの内容は、アプリケーションの種類により異なります。各アプリケーションのコンバーターマニュアルをご確認ください。

操作

- ① 一括コンバーターの初期画面から<実行結果>を選択します。



- ② 移行データの種類のログが表示されます。移行種類に「一括」と表示されます。異常終了、要確認の項目を選択して、【移行データ明細】を選択します。



- ③ 移行された会社データの一覧です。異常終了、要確認のデータを選択して、【データ別ログ表示】を選択します。



- ④ ログの詳細が表示されます。各アプリケーションのコンバーターマニュアルでログの内容を確認してください。

コンバート実行結果確認(会社データ明細)

開じる 検索実行 ファイル出力 マニュアル

検索条件
 詳細結果: 正常終了 要確認 異常終了

実行結果リスト

選択データ
 法人名/個人名: エブソン空港 移行実施日時: 2014/05/01 19:25 ~ 2014/05/01 19:26 処理結果: 異常終了
 コード: 旧 0 新 0CY01 会計期間: 平成23年01月01日 ~ 平成23年12月31日 申告区分: 決算

開始時間	詳細結果	ログメッセージコード	処理内容
05/01 19:25:52		IYZMGM061007	アプリケーション: InterKK 財務会計 会社コード: 0の移行を開始します。
05/01 19:26:05	異常終了	IYZMGM090044	0CY01 エブソン空港 該当データは持出中のため、コンバートできません。データを戻してか...
05/01 19:26:05	正常終了	IYZMGM064001	InterKK 財務会計の会社コード: 0、会社名: エブソン空港のデータ利用情報の移行を開始し...
05/01 19:26:06	要確認	IYZMGM064003	InterKK 財務会計の会社コード: 0、会社名: エブソン空港のデータ利用情報は、ユーザー:e...
05/01 19:26:06	正常終了	IYZMGM064004	InterKK 財務会計の会社コード: 0、会社名: エブソン空港のデータ利用情報の移行は、正常...
05/01 19:26:06	正常終了	IYZMGM063011	共通会社情報の構築を開始します。
05/01 19:26:06	正常終了	IYZMGM063001	財務会計R4の会社コード: 0CY01、会社名: エブソン空港の共通会社情報の構築を開始しました。
05/01 19:26:06	異常終了	IAZMG-20208	データベースのアクセス処理で例外が発生しました。登録されているはずの会社管理マスタが...
05/01 19:26:06	異常終了	IYZMGM063010	財務会計R4の会社コード: 0CY01、会社名: エブソン空港からの共通会社情報の構築は、異常...
05/01 19:26:06		IYZMGM061011	アプリケーション: InterKK 財務会計 会社コード: 0の移行が終了しました。異常終了して...

4.3 コンバートログ一覧

メッセージコード	詳細結果	メッセージ内容	表示条件／対応
IYZMGM040001		ユーザー情報の移行を開始しました。	
IYZMGM040002		ユーザーの変換が正常に終了しました。	
IYZMGM040007		ユーザー情報の移行がキャンセルされました。	
IYZMGM0510001		コンバート元の共通データベースの接続に失敗しました。	共通会社移行時、既存の共通会社への接続ができません。接続を確認してください。
IYZMGM0510002		コンバート先の共通データベースの接続に失敗しました。	共通会社移行時、R4アプリケーションの接続ができません。接続を確認してください。
IYZMGM05100**		—	共通会社移行時のエラーです。接続を確認してください。
IYZMGM052001		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {情報名}情報の移行を開始しました。	
IYZMGM052004		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {会計事務所／税理士／お気に入り URL 情報}情報の {会計事務所コード／税理士 ID／URL 番号／年}・{会計事務所名／税理士名／URL 名称}の移行が正常に終了しました。	
IYZMGM052005		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {会計事務所／税理士／お気に入り URL 情報}情報の {URL 番号}・{URL 名称}のデータは、移行先に既に同一のデータが存在するので移行しませんでした。	
IYZMGM052006		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {掲示板}情報の移行は、移行先に既に同一のデータが存在するので移行しませんでした。	
IYZMGM052009		{InterKX／応援ネットワーク／応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {税務署／市区町村役場／都道府県税事務所}情報の {税務署コード／市区町村役場コード／都道府県税事務所コード}・{コードに対する(官公庁)名称}の表示フラグの更新に成功しました。	
IYZMGM061002		アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行が正常に終了しました。	

IYZMGM061007		アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行を開始します。	
IYZMGM061010		アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行が終了しました。警告が発生している箇所があります。	
IYZMGM061011		アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行が終了しました。異常終了している箇所があります。	
IYZMGM061012		中止処理が行われたので、アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行を中止しました。	
IYZMGM061013		移行先ハードディスク容量チェックができません。	移行先サーバーとの通信エラー等で発生します。通常は発生しません。
IYZMGM090019		〇〇の電話番号の値を{0354325678}から{03-5432-5678}に変更しました。 ・会社マスタの税理士電話番号 ・共通基本情報マスタ(法人)の共通基本情報電話番号* ・従業員マスタの電話番号 ・市町村マスタの電話番号	ハイフン付電話番号に変換 * 共通基本情報が既に登録されている場合は、会社基本情報変更を上書
IYZMGM052008	警告	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアローン}環境のデータベース種類}DB {会計事務所}情報の{会計事務所コード}-{会計事務所名}の所轄税務署名:{所轄税務署名}の税務署コードが取得できませんでした。NULLを設定します。	移行対象の税務署コードが、Eiボードの税務署マスタに存在しない場合に出力されます。Eiボード上で税務署マスタに税務署コードを登録してください。
IYZMGM064002	警告	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}のデータ利用情報は、ユーザー:{ユーザー名}が存在しない為、移行されませんでした。	ユーザー情報の移行を行わずに、既存のデータ利用管理を行っている会社データを移行した場合に出力されます。 ①移行した会社データにデータ利用権限を付けたい場合 →Eiボードでデータ利用権限を付けて下さい。 ②他にも移行するデータがあり、そのデータにはデータ利用権限を付けたい場合 →R4システムで移行したデータを全て削除します。(1件でもデータが登録されているとユーザー情報の移行はできないため) ※ユーザー情報の移行を行った後、会社データの移行を行って下さい。

IYZMGM064003	警告	ユーザー情報が存在しない為、データ利用情報の移行は行われませんでした。	IKX とネットワーク版のみで表示されるメッセージです。ユーザー情報の移行が行われずに、データ利用管理が行われている会社データを移行した場合に発生します。ユーザー情報を事前に移行する必要があります。
IYZMGM064004	正常終了	会社コード:、会社名:のデータ利用情報は、正常に終了しました	
IYZMGM052011	正常終了	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアローン}環境の{データベース種類}DB {会計事務所/税理士/お気に入り URL 情報}情報の移行が正常に終了しました。(移行件数:{XXXXX}件中 正常:{XXXXX}件 警告:{XXXXX}件 読み飛ばし{XXXXX}件)	
IYZMGM052012	正常終了	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアローン}環境の{データベース種類}DB {会計事務所/税理士/お気に入り URL 情報}情報の移行が終了しました。(移行件数:{XXXXX}件中 正常:{XXXXX}件 警告:{XXXXX}件 読み飛ばし{XXXXX}件)	警告件数がある場合に表示されるメッセージです。
IYZMGM052020	正常終了	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアローン}環境の{データベース種類}DB {会計事務所/税理士/お気に入り URL 情報}情報の移行処理を中断しました。(移行件数:{XXXXX}件中 正常:{XXXXX}件 警告:{XXXXX}件 読み飛ばし{XXXXX}件)	[キャンセル]クリック時点の、移行済みの{会計事務所/税理士/お気に入り URL 情報}の情報が出力されません。
IYZMGM063001	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}の共通会社情報の構築を開始しました。	
IYZMGM063002	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}の{テーブル名}の{項目名}を{テーブル名}の{項目名}へ{登録値}で登録しました。	
IYZMGM063006	正常終了	会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}から、共通基本情報会社管理マスタへ新規登録を行いました。	
IYZMGM063008	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}からの共通会社情報の構築は、正常に終了しました。	
IYZMGM064001	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}のデータ利用情報の移行を開始しました。	IKX とネットワーク版のみで表示されるメッセージです。
IYZMGM064004	正常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}のデータ利用情報は、正常に終了しました。	IKX とネットワーク版のみで表示されるメッセージです。

IYZMGM090005	正常終了	会社:〇〇 データベースを作成しました。	
IYZMGM090006	正常終了	テーブル:〇〇の移行が正常終了しました。	
IYZMGM052013	異常終了	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアローン}環境の {データベース種類}DB {会計事務所/税理士/お気に入り URL 情報}情報の移行が正常に終了しませんでした。詳細はエラーコードとエラー内容を確認して下さい。	共通マスタ移行処理が正しく移行できなかったときに表示されます。エラーコードをお知らせください
IYZMGM061003	異常終了	アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行に失敗しました。(エラーコード{IAZMG-XXXXX}:[{〇〇〇〇}])	移行処理に失敗したときに表示されます。エラーコードをお知らせください。
IYZMGM061008	異常終了	アプリケーション:{アプリケーション名} 会社コード:{会社コード}の移行で予期せぬエラーが発生しました。(エラー発生箇所:{〇〇〇〇}:{[{〇〇〇〇}])	予期せぬエラーが発生したときに表示されます。移行元、移行先のプログラムが正しく処理できることを確認の上、再コンバートをお試しください。コンバートできない場合は、エラー発生箇所をお知らせください。
IYZMGM061009	異常終了	移行先ハードディスク容量の空きが不足しています。	移行先ハードディスクの空き容量を確認してください。
IYZMGM090008	異常終了	{会社コード:会社名}データベース作成に失敗しました。	なんらかの理由によりデータベースが作成できなかったときに表示されます。
IYZMGM090010	異常終了	{会社コード}{会社名}会社データが重複しています。	移行先に既に同一会社コード・会社名・年分の会社データが(コンバート以外の方法で)登録済みのときに表示されます。 必要に応じて、登録済みのデータを削除し、コンバートしてください。
IYZMGM090031	異常終了	{テーブル名}の移行でエラー発生しました。	移行途中でなんらかの理由によりテーブル等の移行が正常にできなかったときに表示されます。
IYZMGM090033	異常終了	アプリケーション移行用のメッセージリソースの作成が失敗しました	移行途中でなんらかの理由によりメッセージファイルの作成に失敗したときに表示されます。
IYZMGM090041	異常終了	{会社コード}{会社名}:{対象レコードが見つかりません。}ログインのロックに失敗しました。 (可変部分他、「対象レコードが複数見つかりました。」)	ネットワーク版の場合 既存アプリケーションへのログイン禁止処理で、テーブル更新エラー発生で表示されます。
IYZMGM090042	異常終了	{会社コード}{会社名}:{対象レコードが見つかりません。}ログインのロックに失敗しました。 (可変部分他、「対象レコードが複数見つかりました。」)	ネットワーク版の場合 既存アプリケーションへのログイン禁止解除処理で、テーブル更新エラー発生で表示されます。

IYZMGM090044	異常終了	{会社コード}{会社名}該当データは持出中のため、コンバートできません。データを戻してから再度コンバートして下さい。	モバイル持ち出し中のデータをコンバートしようとする则表示されます。データを返却してからコンバートしてください。
IYZMGM052007	異常終了	{InterKX/応援ネットワーク/応援スタンドアローン}環境の{データベース種類}DB {会計事務所/税理士/お気に入りURL 情報}情報の{会計事務所コード/税理士 ID/URL 番号/年}-{会計事務所名/税理士名/URL 名称}の移行に失敗しました。(エラーコード{XXXXX}:{○○○○})	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM063007	異常終了	会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}から、共通基本情報会社管理マスタへ新規登録が行えませんでした。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM063009	異常終了	{アプリケーション名}の会社コード:{会社コード}、会社名:{会社名}からの共通会社情報の構築に失敗しました。データ移行のログを確認して下さい。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090001	異常終了	既存環境アプリケーション DB の ODBC のセットアップ処理が正常に終了しませんでした。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090002	異常終了	既存環境共通 DB の ODBC のセットアップ処理が正常に終了しませんでした。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090003	異常終了	既存環境アプリケーション DB への接続に失敗しました。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090004	異常終了	既存環境共通 DB への接続に失敗しました。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090040	異常終了	{会社コード}{会社名}:既存環境の共通 DB からログインユーザー情報の取得に失敗しました。	例外的なエラーです。通常は発生しません。
IYZMGM090045	異常終了	{会社コード}{会社名}該当データの持出確認で、予期しないエラーが発生しました。(エラーコード:{XXXXX}:{XXXXX})	例外的なエラーです。通常は発生しません。

以上